

平成18年 高年齢者雇用状況集計結果

平成18年6月1日現在

表1 雇用確保措置の実施状況

	①実施済み	②未実施	①+②合計
企業数	68,324	13,058	81,382
比率	84.0%	16.0%	100%

表2 規模別・産業別実施状況

		①実施済企業割合	②未実施企業割合
規模別	51～100人	79.5%	20.5%
	101～300人	85.1%	14.9%
	301～500人	92.6%	7.4%
	501～1000人	95.2%	4.8%
	1,001人以上	96.8%	3.2%
	合計	84.0%	16.0%
産業別	農、林、漁業	79.0%	21.0%
	鉱業	86.4%	13.6%
	建設業	86.3%	13.7%
	製造業	85.6%	14.4%
	電気・ガス・熱供給・水道業	88.8%	11.2%
	情報通信業	77.9%	22.1%
	運輸業	86.7%	13.3%
	卸売・小売業	80.9%	19.1%
	金融・保険業	89.5%	10.5%
	不動産業	85.7%	14.3%
	飲食店、宿泊業	81.2%	18.8%
	医療、福祉	83.9%	16.1%
	教育、学習支援業	81.7%	18.3%
	複合サービス事業	87.9%	12.1%
	その他のサービス業	83.1%	16.9%
合計	84.0%	16.0%	

表3-1 雇用確保措置の上限年齢

	①65歳以上 (含定年制なし)	②62~64歳	①+②合計
企業数	52,105	16,219	68,324
比率	76.3%	23.7%	100%

表3-2 雇用確保措置の内訳

	①定年の定め の廃止	②定年の引上げ	③継続雇用制度 の導入	①+②+③合計
企業数	830	8,829	58,665	68,324
比率	1.2%	12.9%	85.9%	100%

表3-3 継続雇用制度の内訳

	①希望者全員	②基準該当者		①+②合計
企業数	22,911	35,754		58,665
		労使協定	就業規則	
		24,684	11,070	
比率	39.1%	42.1%	18.8%	100%